

地域と病院を結びつける 兵庫医科大学ささやま老人保健施設

ささやま老人保健施設は、高齢化の進む丹波・篠山に平成11年9月に開設されました。

併設の兵庫医科大学篠山病院、リハビリテーションセンターとの連携により医療、看護、介護の総合的なケアを提供する特色ある施設として、入所(短期入所含む)ベッド100 床(うち30 床は認知症専門棟)を有し、居宅サービス(通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション)の提供と併せて、利用される方とその家族が心身ともに豊かな人生を送ることができるよう支援しています。

兵庫医科大学の教育の場としても重要な役割を担っています。全国の医科大学の中でも介護施設を有する大学は珍しく、全人的医療の一環として研修医や医学生が介護をとおして、地域密着型の医療・介護を学びます。また、看護師やコメディカルの方たちも研修に訪れるので、「療養生活に様々な変化が加わり、良い刺激になる」と利用の方に喜んでいただいています。

平成22年春には兵庫医科大学篠山病院が新しく生まれ変わり、本施設の北側に完成します。現病院よりも近くに位置し、本施設、リハビリテーションセンター、病院間の移動距離が短くなり、医療度や介護度の高い方々に益々利用していただきやすくなります。



全国のモデルケースを目指して

ささやま老人保健施設 副施設長
地域総合医療学講座 講師 | 山本 憲康

今後の医療・介護政策の方向性や、篠山市・丹波地域における人口構造等を考慮すると、地域医療における介護老人保健施設の役割はますます大きくなります。兵庫医科大学篠山病院とささやま老人保健施設が一体となった運営体制での「総合的なケア」の充実が求められるとともに、

地域密着型の医療従事者を養成していく教育機関としての役割を担っていく必要があります。ささやま老人保健施設は、地域と病院をつなぐ架け橋となり、他の地域にとってもモデルケースとなるような施設を目指したいと考えています。



リハビリテーションセンター

建設面積が1,681.05m²、延床面積4,418.80m²の鉄筋コンクリート造4階建てで、内装は木目調の温かみのある作りになっています。

1階は診察室、通所デイルーム、レクリエーションルーム、浴室、家族介護教室、理容室、相談室などがあり、通所利用者は主にこちらで過ごしていただきます。

2階～4階は入所者療養室で、食堂やデイルーム、談話室等が併設されています。入所者療養室には、個室(26室)、2人室(7室)、4人室(15室)があります。

家庭的な雰囲気の中で過ごしていただくために

利用者は「入浴と食事が一番楽しみ」とよく言われます。家庭での雰囲気を感じてもらえるような、ゆったりとした入浴と温かくて美味しい食事を提供できるようにしています。

3時のおやつの前にはレクリエーションルームで簡単な体と頭の体操を行います。歴史カルタや、クイズ、神経衰弱ゲーム、カラオケ大会などを皆で楽しめます。



クラブ活動では園芸・手芸・書道も行っており、施設の色々な場所で作品を展示しています。施設を訪れる人達は色とりどりの作品を目にして心を和ませます。

また、四季折々のイベント行事も企画しており、特に8月の納涼祭はとても盛り上がりします。櫓が組まれ色々な出店が揃い、篠山産業高校ブラスバンド部の演奏や、デカンショ保存会による「デカンショ節」も披露され、利用者とそのご家族と職員と一緒に楽しめます。

篠山産業高校ブラスバンド部の演奏(平成20年納涼祭)



ささやま老人保健施設 職場紹介

現在、老健看護課の9名、介護福祉課の介護福祉士24名、介護員20名で頑張っています！



小明 敬子看護師長から一言！

医療度の高い利用者さんがおられますが、併設の兵庫医科大学篠山病院との連携もよく、とても心強いです。研修医や学生さんたちにもどんどん実習に来てもらい、地域医療や介護を学ぶと同時に、「篠山」の魅力を感じて欲しいですね。ここには美味しいものも沢山あり、景色も最高です。ぜひ好奇心を持って来てくださいね！



在宅生活に復帰することを目標に

4階入所療養棟 担当
介護福祉士 | 守山 真弘さん

4階入所療養棟で、ケアマネージャーや理学療法士、作業療法士らと立てたケアプランの下、利用者さんが少しでも自立した生活を送れるように、生活全般を介助しています。

施設では、利用者さんに楽しく生活していただくことが一番ですが、「在宅生活に復帰する」という目標を持って支援することが最も重要です。ケアプランで決められたリハビリ以外にも、普段の生活の中で出来る機能訓練があれば積極的に行うようにしています。また、施設だけでなく在宅に戻られた時にも安全に生活していただくために、介護する方も介護される方も、両方の体を痛めないような介護方法を学んでいきたいと考えています。

担当の利用者さんとは一緒にいる時間が長い分、親しくなり、朝の挨拶だけで体調の変化もわかるようになります。利用者さんもよく声をかけてくれるようになり、時にはこちらの体調を心配してくれることもあって、家族が増えたようで嬉しいですね。それでも、言葉使いや振る舞いが親しくなりすぎないように気をつけていますが、その距離感を保つのがなかなか難しくもあります。

休日はたっぷり睡眠を取り、バレーボールやゴルフの打ちっ放しなどで体を動かして、気分転換をしています。入職して10年目になりますが、介護は奥が深く学ぶことがいっぱいです。これからも入所されている利用者さんが楽しく安全に、そして在宅生活に戻ることを目標として生活していける場にしていきたいと思っています。



笑顔でお迎えし、笑顔でお送りする

通所リハビリテーション 担当
介護員 | 岡本 ひろみさん



通所リハビリテーションを担当、利用者さんの送迎、入浴・食事・排泄介助などを行っています。朝10時頃に施設に到着、午前中に入浴を済ませて、午後から併設のリハビリテーションセンターでリハビリを受けていただきます。1日55人（通所リハビリテーション40人、介護予防通所リハビリテーション15人）までの受け入れ態勢ですので、とても忙しいのですが、スタッフは明るく協力的で、一致団結して働いています。

特に利用者さんの体調管理には気を遣います。一人ひとりの排泄をチェックしたり、声をかけた時の反応で推測したり、小さな変化にも気づいて対処しなければいけません。また、落ち込んでいる利用者さんがいたら寄り添い話を聴くことで、不安や心配に思っていることを吐き出してもらいます。

朝来られた時には元気がなかったのに、帰る時に「元気になったわ。また来るね。」と言ってもらえることもあり、とても嬉しいですね。「笑顔でお迎えし、笑顔でお送りすること」をいつも心がけています。

家庭があつての仕事だと考えているので、家事との両立も出来る限りきっちりしたいと思っています。休日のまとまった時間で家事に集中していると、とても良い気分転換になります。また、時間を見つけては散歩をするのですが、篠山の自然に触れているととても心が和みますよ。

介護員として勤務して3年目です。まだまだ覚えることが沢山ありますが、いずれは介護福祉士を目指したい。そのためにも、毎日の業務を精一杯頑張って、色々なことを学んでいきたいと思っています。



学部長メッセージ

光り輝くのは学生諸君 学生諸君を磨くのは教員

薬学部 学部長 | 東 純一



本 年4月より、兵庫医療大学薬学部長に就任しました。大阪大学では35年間余り、研究、教育および臨床に従事し、循環器内科学、タウリンの研究、臨床薬理学、新規医薬品の開発等に携わってきました。最近、遺伝子情報に基づく個別化与薬（ファーマコゲノミクス）に関する研究、普及に取り組んでいます。個人のユニークさは遺伝子構造の違いにより表現されます。この遺伝子構造の僅かな違いが医薬品の効果や副作用発現の個人差の原因となります。その成果を臨床現場へ還元するため、「くすり」と「ひと」そして「ゲノム」との関わりについて研究を進めています。

薬 学とは、ただ単に知識を習得するだけの学問ではなく、「くすり」に関して得た知識を病める「ひと」、患者さんに適用する実学です。従って、「薬学部 医療薬学科」の学生として習得する知識は、その全てが患者さんの命に関わる重要なものです。本学薬学部には1学年おおよそ150名の学生が在学し、44人の教員及び多くのユニークな研究分野があります。

本 学に入学する学生諸君は、早期に患者さんと接することにより、「ひと」を対象とする医療職であることを体得します。各学年次において、「ひと」と「くすり」とに関する必要な知識を習得し、その達成度は定期的かつ頻回なチェックにより確認されます。本学への入学者は、6年間、我々の提供するカリキュラムに従い、自ら脱落することなく、真摯な態度で勉学に勤しむ強靱な意志を持ち続けてくれると信じています。学生諸君には、本学が薬剤師国家試験の合格率トップを目指すという我々の想いに協力し

てくれることを期待しています。アメリカの詩人、思想家であるラルフ・ウォルド・エマースンは、「教育の秘訣は、生徒を尊重することにある」と言っています。翻って、「学生諸君がよい養育を受けるには、教員に敬意を表することにある」とも言えます。「学生諸君を磨くのは我々教員」「光り輝くのは学生諸君自身」なのです。

兵 庫医療大学の歴史を創るのは、本学の黎明期に在籍しているユニークな学生諸君です。さまざまな人格とさまざまな能力をもつ一人一人の努力と、同級生だけではなく先輩や後輩と互いに切磋琢磨しつつ行う協力と、さまざまな経験をもつ教員スタッフによる助力が求められます。本学には、薬学が関わるあらゆる分野の選りすぐりのスタッフがいます。さらに臨床現場で活躍する能力を有する薬剤師の養成は言うに及ばず、薬剤師の資格を持ちかつサイエンスとしての薬学探求をめざす人材を育成します。後輩達を導いていく教育者、新薬創製や医薬品開発業務、医薬品の適正処方体系化に寄与する研究者の養成も、我々、兵庫医療大学薬学部の大きな目的です。薬剤師として、いかなる場面でも逡巡しない資質を6年間で涵養する。涵養とはだんだんに養成することを意味します。

我 々教員の思いは、学生諸君が薬剤師の資格を習得する「智」と、薬剤師としてひとと接する「情」と、さらには薬学教育者となる「気」と、薬学を科学する「志」とを持ってくれることです。

平成21年度 兵庫医療大学入学式

平成21年4月5日(日)ポートピアホールにおいて、平成21年度兵庫医療大学入学式が執り行われ、薬学部150名、看護学部113名、リハビリテーション学部101名(理学療法学科46名、作業療法学科55名)の新生が入学しました。

同日午後から7日にかけて新生オリエンテーションを行い、8日(水)から新1年生の授業を開始しました。

第3期生を向かえ、ますます賑やかで活気溢れるキャンパスでの新学期がスタートしました。



新生代表「入学宣誓」
薬学部 波満 由莉香さん
看護学部 清水 茜さん
リハビリテーション学部 熊川 圭一さん

保護者説明会(4月5日)

入学式の後、保護者の方には会場に残っていただき松田学長からのご挨拶とともに、土肥学生部長より学生生活における保護者の方へのお願いなどをお話させていただきました。多くの保護者の方に参加していただき、学生生活についてご理解いただく貴重な時間となりました。



合同オリエンテーション(4月5日～7日)

入学式当日の午後より3日間、新入生3学部4学科で合同オリエンテーションを行いました。授業の履修の仕方など、大学生活における必要事項などが説明され、新入生たちは熱心に聞いていました。



在学生キャンパスツアー(4月5日)

在学生が新入生を連れて大学校舎内を案内して回りました。先輩だからわかる兵庫医療大学の魅力を伝えながら、和気あいあいと見学していました。



クラブ・サークル新歓オリエンテーション(4月5日～4月7日)

入学式の日より3日間、本学P棟1階において在学生によるクラブ・サークルの勧誘が行われました。クラブ・サークル活動では、先輩や他学部の学生とも交流を深めることができます。ぜひ参加して学生生活を一層充実したものにしてください。



在学生による新入生歓迎会(4月11日)

4月11日(土)学生会大学行事実行委員会の主催による新入生歓迎会が開催されました。

部活・サークルアピールでは、部員達がさまざまなパフォーマンスを行って会場を大きな笑いに誘い、他にも部対抗ゲームや大学〇×ゲームなど楽しいイベント満載の歓迎会でした。



式辞

学長 松田 暉

本日、近隣のさくらも満開となり、正に春の到来を感じる中、兵庫医療大学の平成21年度の入学式を迎えることが出来たこと、我々大学教職員一同大変嬉しく思います。そして、新入生の皆さん、兵庫医療大学への入学おめでとうございます。保護者、ご家族の皆様方にも心よりお祝いを申し上げます。大学を代表してお祝いと歓迎を申し上げます。兵庫医療大学は伝統ある兵庫医科大学の姉妹大学として、薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の3学部構成で、ポートアイランドキャンパス地区に一昨年スタートしました。本年早くも3回目の入学式を迎えるまでになりました。本日、看護学部編入者を含め総計364名の新入生の皆さんが新しく兵庫医療大学の学生となったわけであります。兵庫医療大学は、皆さんを含め総勢1099名の学生と145名の教職員が揃い、大学としていよいよ充実の時期にきております。教員陣、在学生、そして兵庫医科大学ともども、皆さんの入学を歓迎し、これからの学生生活が実りあるものになることを願っています。

看護学部は本年度より3年生からの編入試験をはじめましたところ、本日4名の新たな学生さんを迎えることができました。既に看護師資格を持たれ、また臨床経験のある方が、より進んだ教育を受け、学士の資格、さらなる国家資格を得るという高い目標でここに来られました。新1年生ともども心より歓迎いたします。

本学は、幅広い知識と豊かな人間性を持ち、そして社会とともに医療を担う医療専門職者の育成を教育理念としています。そのための教育目標として4つを掲げています。そして本学の特徴は、兵庫医科大学と医科大学病院、篠山病院、そして関連病院と連携し、これまで培われてきた医学教育や臨床実習の経験をもとに、医療現場と緊密な連携を取りながら教育を進めるところにあります。私どもが力を入れていることは、3つの学部がボーダレスに連携し、教員はもとより学生が普段より学部の壁を超えて交流することです。講義や実習でも互いに医療現場での役割を理解し、さらに医科大学とも連携し、将来の医療の場でのチーム医療の実践が積極的に出来るようになってもらおうとしています。

医療現場では先進技術が開発され、新しい診断法や治療法がどんどん登場しているなかで、安全で信頼できる医療、そして何より患者さんが中心の心のこもった全人的医療が望まれています。そして異なった医療専門職が患者さんを中心に集まってそれぞれの専門分野での役割を果たしながら、連携して最善の治療を進めるという、チーム医療の実践が求められています。また、医療の場が、病院から地域へ、在宅へと移っていきます。このような時代の要求に応えられるよう、3学部のみならず兵庫医科大学を交えたボーダレスな教育環境を用意しています。皆さんは、いつか医療チームとして共に活躍することになる他学部の学生さんたちと垣根をなくして一緒に学べることができ、将来、新たなチーム医療に参画するうえで大きく役立つと信じています。

皆さんは将来の医療専門職者を目指すわけですから沢山の基礎的そして臨床的知識を覚え、技術は実習で習得して行かぬばなりません。そして卒業したら国家試験が待っています。これに合格しないと皆さんの目標である、薬剤師、看護師、助産師、保健師、理学療法士、そして作業療法士という国家資格を持つことは出来ませんし、医療現場で力を発揮することも出来ません。兵庫医療大学は教職員一同、皆さんがしっかり学べる環境を用意しますから一緒に学習し、初期の目的を達成しましょう。

さて昨今、社会では医療崩壊が起こっていると言われています。その

背景には、病院の医師、看護師だけではなく、地域医療や介護の現場など多くの医療現場で医療専門職者そのものが少ないことが原因になっています。平成20年に厚生労働省は、「安全と希望の医療確保ビジョン」を打ち出しています。その3本柱に、医療従事者の数と役割、地域で支える医療の推進、そして医療従事者と患者家族との協働の推進が挙げられています。医師を含めた職種間の協働、チーム医療の充実、が目標とされています。特に専門職者間の協働ということが大事になっていきます。近い将来、皆さんの役割は拡大し、医師の仕事を一部分担できるようになってくるでしょう。このような大きく変化しつつある医療に皆さんは近い将来参加することになるのです。そこには皆さんの努力次第で新たな活躍の場や役割が出てくるでしょう。

さて、今日から皆さんは大学生であります。これまでの何事も教えてもらうという受身の立場から、自分から学ぶという大きな変化を受け入れていかなくてはいけません。自ら課題を見つけて、本を読んで自分で調べ、自分自身やグループで勉強しながら、知識を身につけ、また問題を解決していくという姿勢が必要となります。

この神戸の地は、14年前の阪神淡路大震災で多くの犠牲者を出したところであります。皆さんは、この神戸の港に面した新しい学園ゾーンで学生生活をはじめます。折に触れて、震災でなくなられ、また傷ついた多くの人たちに思いをはせて、医療職者として進む上で、人の命の大切さ、医療の大切さ、ボランティア精神、そしてそこに広がる奉仕の精神を大事にしていって欲しいと思います。またこのポートアイランド近隣の、神戸学院大学、神戸女子大学、神戸夙川学院大学との4大学連携事業が始まっています。これによって単位互換や教養講座など、幅広い学習ができる環境が整ってきています。

入学された諸君に申し上げたいのは、これからの学生生活において良き友人をたくさん作っていきましょう。困ったときの友こそ真の友、よき師とよき友は人生の宝、と言われていています。私が大学に入学した時に教養の先生が寮歌の一節を紹介してくれました。「君が憂いに我は泣き、我が喜びに君は舞う」、という一節であります。心の通った、何でも相談できるよき友を作ってください。

皆さんは将来医療現場や関連分野での活躍が期待されています。この大学に入った、医療の専門職への最初の門をくぐる事が出来た、というチャンスを最大限に生かせるよう、日々切磋琢磨してください。そして何事も努力です。安易な考えでは皆さんの目的は達成できません。日ごろの努力の少しずつの積み重ねが大きく成長します。努力をしなければせっかくのチャンスも去っていきます。大学生活は長いようで短いのが現実です。時間を大事にしましょう。素晴らしい環境のこの大学に入れたことを大事にし、今の気持ちを忘れないで、悔いのない学生生活を送って下さい。最後にあらためて入学おめでとうございます。そして「何ごとも努力」という言葉を諸君に贈りたいと思います。



平成21年度科学研究費補助金交付決定

平成21年度科学研究費補助金(29件 総額54,672千円(うち直接経費43,740千円、間接経費10,932千円))の交付が下記のとおり決定しました。なお、平成20年度実績は32件 総額60,810千円(うち直接経費48,900千円、間接経費11,910千円))でした。

(単位:千円)

所属部局	研究代表者	研 究 課 題 名	交付決定額	
			直接経費	間接経費
特定領域研究				
薬学部	田中 稔之	リンパ節特異的な細胞動員シグナルによる制御性細胞の組織特異的動員と自己応答性制御	4,800	0
基盤研究(B)				
看護学部	網島ひづる	外来化学療法を受ける肺がん患者の生活を支援する情報提供・相談システムの開発と評価	1,200	360
学長	松田 暉	心不全に対する埋め込み型補助人工心臓による社会復帰を目指した新たな治療法の導入	4,000	1,200
看護学部	鈴木 久美	乳がん早期発見のための乳房セルフケア促進プログラムの開発と妥当性の検討	5,800	1,740
基盤研究(C)				
薬学部	宮部 豪人	ラジカル種の特性を活用した新規合成法の開拓	900	270
看護学部	富永 真己	新卒看護師の職業性ストレスと離職意向に関する縦断研究:地域間における比較	1,000	300
看護学部	尾ノ井美由紀	知的障害者・児の肥満予防および改善プログラムの開発に関する研究	700	210
薬学部	田中 明人	光切断リンカーを利用した生理活性物質ターゲット探索方法の開発	400	120
薬学部	青木 俊二	内因性血管新生阻害物質活性化を標的とした天然由来新規抗がんリード化合物の創製	1,000	300
共通教育センター	紀平 知樹	自然の資本化に関する現象学的研究-「持続可能な開発」の倫理に向けて	700	210
リハビリテーション学部	伊藤 斉子	「心の理論」高次テスト(日本版)は高機能広汎性発達障害の補助診断法として有効か?	900	270
薬学部	田中 康一	アストロサイトにおける酸化ストレスによるDNA修復酵素とヌクレオシド輸送体の変化	1,200	360
看護学部	土田 敏恵	ユビキタス・ネットワークシステムを活用した感染制御技術の向上	1,500	450
看護学部	佐藤真由美	子宮癌手術後続発性下腿リンパ浮腫のためのセルフケア介入プログラムの開発	2,300	690
薬学部	戴 毅	炎症性メディエーターによるDRGニューロンの感作メカニズム	1,000	300
薬学部	甲谷 繁	光触媒による新規複合型レドックス反応の開発	1,800	540
薬学部	岩崎 剛	HGFアンタゴニスト(NK4)による滑膜増殖の制御	1,900	570
看護学部	平木 尚美	認知症高齢者グループホームの終末期ケアにおける看護連携システムの開発	1,900	570
挑戦的萌芽研究				
看護学部	鈴木 久美	C型慢性肝炎患者のセルフマネジメントを促す心理教育的グループ介入プログラムの開発	1,000	0
薬学部	前田 初男	近赤外蛍光イメージングに資する新規蛍光色素の戦略的开发	900	0
看護学部	西村 明子	周産期における父親のうつ状態の推移と危険因子-社会的要因と生物学的要因の重要性-	600	0
若手研究(スタートアップ)				
薬学部	清水 忠	生理活性脂肪酸を基盤とした新規抗認知症治療剤の創製および作用メカニズムの解明	1,200	360
薬学部	前田真貴子	血小板減少症治療薬インターロイキン-11を用いた心不全発症予防戦略の確立	1,200	360
リハビリテーション学部	高橋 哲也	間欠的足底圧刺激に対する反応性筋収縮による廃用性筋力低下予防装置の開発と臨床応用	520	156
看護学部	平岡 玲子	がん患者が体験している痛みに対する自己コントロール力を高める看護援助プログラム	620	186
若手研究(B)				
リハビリテーション学部	坂口 顕	～温熱療法の可能性を広げる～ 運動療法との併用による筋萎縮予防効果	1,400	420
薬学部	吉岡 英斗	PET癌検診へのアプローチ:低分子68Ga標識プローブおよび11C標識法の開発	1,100	330
看護学部	高山 京子	がん臨床試験に参加する患者のセルフ・アセスメント能力向上のための教育用ツール開発	1,100	330
看護学部	松本 麻里	慢性閉塞性肺疾患患者の憎悪予防のための自己管理を促す心理教育的介入プログラム開発	1,100	330

教授就任挨拶



薬学部

本年度から兵庫医療大学薬学部において、既に着任されておられる西山信好教授と協力して薬理学(循環器系など)を担当させて頂くことになりました。

昭和58年滋賀医科大学を卒業後、同大学精神医学教室に入局しました。脳血管障害による認知症に興味をもち、卒後5年目から大学院生として同大学薬理学教室で研究をはじめました。教室のテーマであった「血管を拡張させる神経伝達物質の解明」に関する実験を続け、「血管は一酸化窒素(NO)作動性神経によって拡張性に調節されている」との知見を目の前にしました。すなわち、「気体であるNOが神経伝達物質である」という、従来の神経伝達物質の概念を覆す発見に立ち会ったわけです。この発見に魅了され同教室で教育者・研究者としての道を選び准教授となりました。また、兼業先では精神科の臨床を実践しながら若手医師の臨床指導を続けてきました。



薬学部

平成21年4月1日付けで兵庫医療大学薬学部微生物学分野の教授として着任いたしました。私は、昭和57年に神戸大学医学部を卒業し、第一外科で5年間の臨床経験を積んだ後、神戸大学医学研究科大学院(薬理学／外科学主科目分担)に入学、平成2年より医動物学講座(数回の改組による講座名変更を経て平成20年より微生物感染症学講座)の助手、原虫寄生虫学／微生物感染症学の教育に従事するとともに講師、准(助)教授として、主に、マラリア、バベシア症などの原虫感染症の分子疫学的研究を行ってきました。

近年の移植医療、再生医療などの新しい医療技術の進歩には目覚ましいものがありますが、その一方で、かつて制圧されるかに見えた感染



看護学部

この4月から、看護学部広域看護学領域地域看護学教授として着任いたしました。地域看護学は、地域で生活する全ての人々の健康を支援する、行政、産業、学校現場に就業する保健師の国家資格取得に関わる教育を中心的に担います。近年の、人々と社会のめまぐるしい変動に対応でき、次々と生じる新たな健康課題にも積極的に取り組める人材の育成のために、大阪と信州における経験を生かし、ここ兵庫県の人々と地域で活動する保健師をはじめとする関係職種の方々に学びながら努力を重ねたいと思います。

また、今まで取り組んできた「療養場所移行に伴う看護の継続性」、「山間へき地における療

あやしき かずひで
安屋敷 和秀 <4月1日就任>

近年、習得すべき医学・医療に関する知識と技術は膨大となり急速に進歩しています。このため、個々の医療従事者は職分を問わず、知識・技術ならびに誠実で優しい心を生涯高めてゆかなければなりません。また、今後の医療に対応するには、医師、看護師、薬剤師、理学療法士などがチームを組んで医療に従事することが重要です。

医師として、また薬理学を担当する教育者として、「くすりとからだ」の関係を医療現場での経験を交えながら解りやすく学生諸君に教育してゆきます。こういった教育を通じて、日々進歩する医療に対応できる個人としての能力を育むとともにチームの一員として医療に従事できる人材を育成し、社会へ輩出したいと切望しています。

まだまだ至らぬところはございますが、皆様のご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

斎藤 あつ子 <4月1日就任>

症が、薬剤耐性、病原体の変異、新しい病原体の出現などの結果、新興再興感染症として再び猛威を振るいつつあります。また、適切な医療にアクセスできずに、単純な感染症で命を落とす人が未だ多いのも現状です。感染症学領域においては、新しい薬剤やワクチンの開発などの薬学的研究が非常に重要であるとともに、医療現場では、医療チームとして、今ある薬剤やワクチンを賢く使用し、正しい感染症対策を立てる必要があります。薬剤師に大きな期待が寄せられています。

私は、これまでの医学部での教育研究の経験を生かし、おもしろくてわかりやすい教育研究を目指し、医療現場で自信を持って活躍できる薬剤師の育成に努めたいと考えています。皆様のご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

上原 ます子 <4月1日就任>

養場所移行・終末期ケア・それを支える地域看護と訪問看護のあり方」等の研究と「退院後がん患者・家族へのサポートプログラム実践」の活動を継続するとともに、年々多様化・複雑化・困難化がすすむ地域の健康課題に対して、実習先の方々等と良好な関係を築きながら、看護現場の要請に応える研究へと発展を図りたいと考えます。

若くはない新人として、保健師活動を通じて培ったチームアプローチやコーディネートを駆使しながら、新しい大学の構築に寄与できるよう励む所存ですので、どうぞご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。



看護学部

大阪府立大学看護学部から着任しました。1971年に大阪大学医学部附属助産師学校の専任講師となり、79年から大阪府立母子保健総合医療センター準備室で大阪府立助産師学院の開設準備にあたり、3期生まで教務主任として勤めました。83年から94年3月まで大阪府立看護短期大学で教鞭をとり、その間わが国で22番目となった大阪府立看護大学開学準備にあたり、15年間に亘る看護学部教育を担いました。その1期生の卒業時には修士課程の開設、修士課程1期生の修了時には博士課程の開設、さらに2000年には母性看護専門看護師課程の開設にもあたらせていただきました。05年には大阪府立大学・大阪女子大学・大阪府立看護大学の統合と法人化もあり、この15年間は教育・研究にひたすら駆け抜けたように感じます。

そのような中、大阪大学医学部附属助産師学校から今日に至り、学生に贈り続けている、「君が手に いのち り託されにし こころ 母と子の 生命尊き この職業かな」 紀美代

末原 紀美代 <4月1日就任>

「我々が必要とするものは多いが それは先に延ばせる しかし 子どもは待てない 今 この瞬間にも 子どもの骨格は形づくられ その血肉はつくられる その知能は発達しつつける 子どもにとって明日はないのだ 今日しかないのだ」

チリのノーベル文学賞受賞詩人
ガブリエラ・ミストラル女史

この2つの言葉を通して、「専門職者となってからも日々研鑽し、探求に努めること」を、前任時代にも増して学生たちに託していこうと決意を新たにしています。そして、この40年間の職業生活を通してつながりと絆がもたらし、生まれた言葉、「つながりて けふまで歩みし 我が看護

絆かためて つきぬおもいを」 紀美代
これらを糧に教育・研究・社会活動に携わる所存ですので、皆様のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。

防災・減災及びボランティア活動に関する5大学連携支援協定を締結

平成21年3月17日に工学院大学新宿キャンパスにおいて、本学、工学院大学、大妻女子大学、神戸学院大学、神戸女子大学(神戸女子短期大学を含む)の5大学の学長等により、「防災・減災及びボランティア活動に関する5大学連携支援協定」の調印式が行われました。

この協定は、東京の工学院大学、大妻女子大学は、東京での直下型地震に対する防災の意識が高く、産、官、学の大規模な防災訓練を行うなど防災、減災、ボランティアに力を入れています。阪神・淡路大震災を経験した神戸の大学でポートアイランドにある3大学との連携をすることにより、それぞれの大学の持っている得意な分野を出し合い、教育、研究、社会貢献の面で連携を深めることを目的としています。

また、この協定の神戸での披露セレモニーとして4月21日に神戸学院大学において、5大学の学長等による締結式が行われました。



右から土曜リハビリテーション学部長(兵庫医療大学学長代理)、渡田学長(神戸女子大学、神戸女子短期大学)、岡田学長(神戸学院大学)、水野学長(工学院大学)、花村理事長(大妻学院)

キャリアデザインセンター開設

平成21年4月1日、兵庫医療大学キャンパス内にキャリアデザインセンターを開設しました。

学生一人ひとりにあった職業意識・知識・技能・能力等の開拓・開発で社会に貢献できるものを身につけてもらえるような活動と、各学部との協力体制のもと「キャリア形成」に全力で取り組みます。「キャリア形成」の目標は「社会に貢献できる人」を育てることであり、この目標が達成できるように指導・援助の体制を整備して問題解決をしてまいります。

センター運営の基本は学生との信頼関係の構築です。個人面談を重視して「個人」の目標にあったキャリアデザインを作成し、具体的な行動計画に基づいた活動をしていきたいと考えています。

キャリアデザインセンター

スタッフ：藤田センター長、林副センター長、
鷺尾センター員、中村センター員
場所：M棟1階
開室時間：平日 午前8時30分から午後5時00分



キャリアデザインセンター長 就任挨拶

共通教育センター(物理化学担当)教授 | 藤田 幸久

このたび兵庫医療大学キャリアデザインセンターの開設にあたりセンター長を拝命いたしました。兵庫医科大学在職中には、ほとんど考えもしなかったような職務で少々戸惑っておりますが、センター長就任にあたり一言ご挨拶をさせていただきます。

本センターは学長直轄の組織で、本学のキャリアデザイン教育の支援、卒業生が本学で培った能力を最大限に発揮して生き甲斐を感じることでできる就職の実現、そして社会に有益な医療従事者を送り出すことを目的とし、キャリアデザイン研修の支援、インターンシッププログラムの提供、求人・進路情報の収集と提供、就職相談及び斡旋、資格取得の情報提供、卒業生のアフターケア(卒後キャリア教育支援、再就職相談)などの業務を行います。現在、

センター長の他3名のスタッフ(副センター長、キャリアアドバイザー2名)で運営しております。本年度は、学生の就職に対する意識調査、学生の職業意識の向上や休暇期間中の病院・施設の見学や短期実習(インターンシッププログラム)の支援および求人情報の収集に全力で取り組みたいと考えております。

一年後には本学を卒業した看護師、理学療法士、作業療法士、四年後には薬剤師が誕生いたします。兵庫医科大学病院、篠山病院、関連病院、同窓会および後援会の皆様のご支援がなければ、本センターの目的を達成することはできません。皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。



理事・評議員の異動

理事

就任 みむら 三村 おさむ 治 [平成21年6月1日付]
おわた 太田 としあき 稔明 [平成21年6月1日付]

辞任 たかおか 高岡 みちお 道雄 [平成21年5月31日付]

評議員

就任 あずま 東 じゅんいち 純一 [平成21年6月1日付]
たにくち 谷口 ますみ 真澄 [平成21年6月1日付]

辞任 にしはら 西原 つとむ 力 [平成21年5月31日付]
なかの 中野 じゅんいち 潤一 [平成21年5月31日付]



みむら 三村 おさむ 治

昭和25年生まれ
昭和50年 3月 大阪医科大学医学部医学科卒業
57年 3月 医学博士(兵庫医科大学)
50年 6月 兵庫医科大学病院研修医(眼科学)
52年 6月 兵庫医科大学眼科学医員
52年 7月 兵庫医科大学眼科学助手
58年 1月 兵庫医科大学眼科学講師
58年 7月 兵庫医科大学眼科学医局長(兼任)
平成元年11月 兵庫医科大学眼科学助教授
7年 9月 ドイツザールランド大学客員教授
10年11月 兵庫医科大学眼科学教授
20年 6月 学校法人兵庫医科大学評議員
21年 4月 学校法人兵庫医科大学 兵医・萌えの会会長



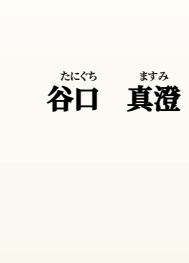
おわた 太田 としあき 稔明

昭和27年生まれ
昭和52年 3月 金沢大学医学部医学科卒業
58年 3月 神戸大学医学部大学院修了
58年 5月 医学博士(神戸大学)
62年 1月 米国エモリー大学胸部心臓外科フェロー
63年 4月 神戸大学医学部外科第2講座助手
平成 6年 4月 兵庫県庁入庁
兵庫県津名保健所長
8年 4月 兵庫県保健部地域保健課長
10年 4月 兵庫県健康福祉部課長(健康づくり担当)
12年 4月 兵庫県県民生活部健康福祉局医療課長
15年 4月 兵庫県健康生活部参事
16年 4月 兵庫県但馬県民局但馬長寿の郷長
18年 4月 兵庫県病院局副局長
19年 4月 兵庫県病院事業副管理者
21年 4月 兵庫県健康福祉部医監兼健康局長



あずま 東 じゅんいち 純一

昭和20年生まれ
昭和46年 3月 大阪大学医学部医学科卒業
46年 4月 大阪大学医学部内科学第三講座
47年 7月 国立療養所近畿中央病院内科医員
50年 3月 米国Texas大学生物医学研究所研究員
52年 1月 Virginia大学医学部生理学部門研究員
52年 9月 大阪大学医学部附属病院医員(内科学第三講座)
56年 3月 大阪大学医学部助手
63年 8月 大阪大学医学部講師
平成 7年 1月 大阪大学医学部教授
7年 4月 大阪大学薬学部客員教授(臨床薬効評価学講座)
10年 4月 大阪大学大学院薬学研究科教授(臨床薬効解析学分野)
10年 4月 大阪大学医学系研究科(現循環器内科学)(兼務)
21年 4月 兵庫医療大学薬学部教授



たにくち 谷口 ますみ 真澄

昭和36年生まれ
昭和59年 3月 神戸大学法学部卒業
59年 4月 神戸市入職
平成13年 4月 神戸市行財政局行政部新行財政システム課長
15年 4月 神戸市行財政局行政部行政経営課長
18年 4月 神戸市企画調整局企画調整部企画課長
21年 4月 神戸市保健福祉局健康部長

平成20年度決算について

財務部

平成20年度は、病院を中心とした経常的収支について期中に変動要因が加わるようになったため、秋口に**補正予算**を策定し、決算をむかえました。

当年度の損益計算に絞った**消費収支計算**で説明しますと、収入面では、**学生納付金**について医療大学が開学2年目をむかえ、医科大学と合わせ、全体で54.8億円、昨年比7.7億円増です。**医療収入**に関しては、20年度は、国の施策による診療報酬改定率が診療報酬本体及び薬価等の合計で△0.82％（実質改定率）で、この影響が少なからずありました。西宮本院では、外来における薬剤の院外処方を12月からほぼ完全に実施したことにより外来収入に昨年比減がみられましたが、それを入院収入の増加でカバーした結果となっています。その結果、本法人の医療収入全体では303.0億円となり、予算対比9.5億円の増、昨年比5.3億円の減です。他に**寄付金**は15.8億円、**補助金**は19.6億円で、**帰属収入**（※1）合計は410.5億円となりました。

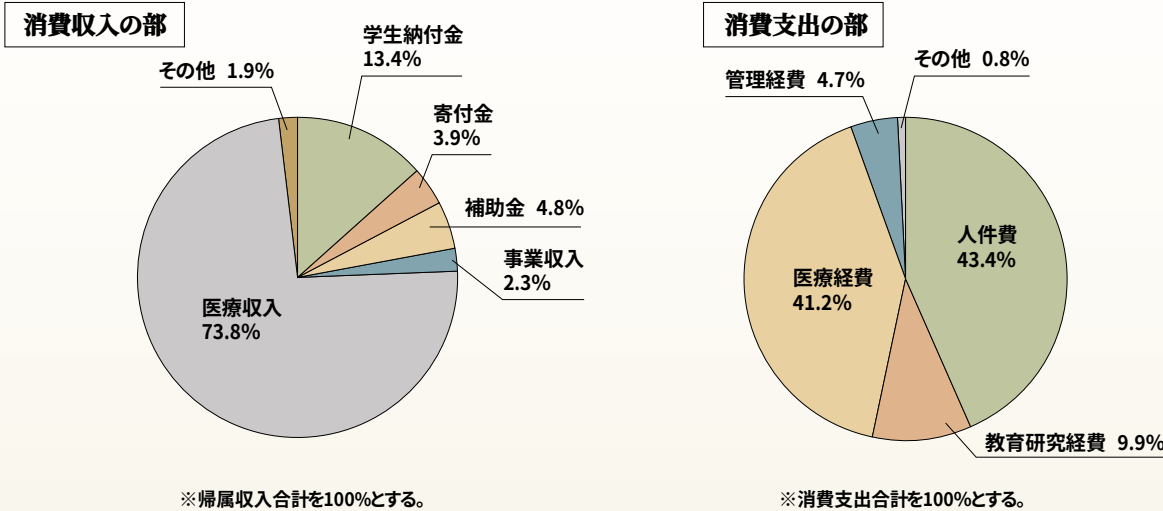
支出面では、**人件費**が178.9億円、**教育研究経費**が40.7億円、病院全体における薬品費、医療材料費を中心とする**医療経費**が169.8億円等で、**消費支出合計**は、412.5億円となり、帰属収入から消費支出（※2）を差し引いた**帰属収支差額**（※3）は、△2.0億円でした。また、帰属収入から控除する学校法人会計特有の**基本金組入額**（※4）は29.0億円で、その結果、消費収入（※5）の部合計では381.5億円となり、消費支出の部合計の412.5億円を差し引くと**消費収支差額**（※6）が△31.0億円（消費支出超過）となりました。

消費収支計算書 平成20年4月1日から平成21年3月31日まで （単位:円）

消 費 収 入 の 部			
科 目	補正予算	決 算	差 異
学 生 納 付 金	5,433,005,000	5,480,157,500	△ 47,152,500
手 数 料	195,065,000	172,744,500	22,320,500
寄 付 金	1,541,310,000	1,582,138,506	△ 40,828,506
補 助 金	1,936,724,000	1,964,370,011	△ 27,646,011
国庫補助金	1,762,577,000	1,760,639,375	1,937,625
地方公共団体補助金	171,947,000	201,530,636	△ 29,583,636
その他補助金	2,200,000	2,200,000	0
資 産 運 用 収 入	141,717,000	168,386,998	△ 26,669,998
事 業 収 入	30,144,573,000	31,255,454,302	△ 1,110,881,302
事業収入	794,811,000	952,989,722	△ 158,178,722
医療収入	29,349,762,000	30,302,464,580	△ 952,702,580
雑 収 入	683,134,000	421,915,424	261,218,576
帰 属 収 入 合 計	40,075,528,000	41,045,167,241	△ 969,639,241
基本金組入額合計	△ 3,855,570,000	△ 2,900,029,260	△ 955,540,740
消費収入の部合計	36,219,958,000	38,145,137,981	△ 1,925,179,981

消 費 支 出 の 部			
科 目	補正予算	決 算	差 異
人 件 費	17,754,109,000	17,887,959,625	△ 133,850,625
教職員等人件費	17,126,036,000	17,205,806,265	△ 79,770,265
退職給与引当金繰入額	550,380,000	602,315,760	△ 51,935,760
退職金	77,693,000	79,837,600	△ 2,144,600
教 育 研 究 経 費	3,778,537,000	4,073,107,932	△ 294,570,932
医 療 経 費	16,802,194,000	16,977,522,087	△ 175,328,087
管 理 経 費	2,392,188,000	1,956,047,214	436,140,786
借 入 金 等 利 息	85,643,000	86,528,097	△ 885,097
資 産 処 分 差 額	100,000,000	208,215,114	△ 108,215,114
徴 収 不 能 額	16,333,000	4,284,718	12,048,282
徴収不能引当金繰入額	0	51,407,328	△ 51,407,328
[予 備 費]	100,000,000	―――	100,000,000
消費支出の部合計	41,029,004,000	41,245,072,115	△ 216,068,115
当年度消費収支超過額	4,809,046,000	3,099,934,134	―――
前年度繰越消費支出超過額	35,363,252,502	35,363,252,502	―――
翌年度繰越消費支出超過額	40,172,298,502	38,463,186,636	―――

平成20年度決算構成比率



次に**資金収支計算書**についてですが、実際に現金支出を伴う借入金返済や建物、機械器具備品等の設備投資を計算に加え、支出に計上します。一方、消費収支に計上される減価償却額等は資金収支には計上されません。期初の現預金は86.6億円であったものが年度末に繰越す**次年度繰越支払資金**が65.8億円ということで、現金の動きだけをみれば20.8億円の減です。

資金収支計算書 平成20年4月1日から平成21年3月31日まで （単位:円）

収 入 の 部			
科 目	補正予算	決 算	差 異
学 生 納 付 金 収 入	5,433,005,000	5,480,157,500	△ 47,152,500
手 数 料 収 入	195,065,000	172,744,500	22,320,500
寄 付 金 収 入	1,503,310,000	1,523,294,235	△ 19,984,235
補 助 金 収 入	1,936,724,000	1,964,370,011	△ 27,646,011
国庫補助金収入	1,762,577,000	1,760,639,375	1,937,625
地方公共団体補助金収入	171,947,000	201,530,636	△ 29,583,636
その他補助金収入	2,200,000	2,200,000	0
資 産 運 用 収 入	141,717,000	168,386,998	△ 26,669,998
資 産 売 却 収 入	1,500,000,000	0	1,500,000,000
事 業 収 入	30,144,573,000	31,255,454,302	△ 1,110,881,302
事業収入	794,811,000	952,989,722	△ 158,178,722
医療収入	29,349,762,000	30,302,464,580	△ 952,702,580
雑 収 入	683,134,000	421,915,424	261,218,576
借 入 金 等 収 入	0	92,752,191	△ 92,752,191
前 受 金 収 入	1,365,563,000	1,102,673,500	262,889,500
そ の 他 の 収 入	2,712,368,434	2,886,263,049	△ 173,894,615
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 3,576,227,000	△ 5,783,060,245	2,206,833,245
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	8,659,193,125	8,659,193,125	
収 入 の 部 合 計	50,698,425,559	47,944,144,590	2,754,280,969

支 出 の 部			
科 目	補正予算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	17,759,750,000	17,904,636,365	△ 144,886,365
教職員等人件費支出	17,126,036,000	17,205,806,265	△ 79,770,265
退職金支出	633,714,000	698,830,100	△ 65,116,100
教 育 研 究 経 費 支 出	2,514,162,000	2,798,213,560	△ 284,051,560
医 療 経 費 支 出	14,970,045,000	15,162,791,588	△ 192,746,588
管 理 経 費 支 出	2,333,535,000	1,897,473,652	436,061,348
借 入 金 等 利 息 支 出	85,643,000	86,528,097	△ 885,097
借 入 金 等 返 済 支 出	616,530,000	606,530,000	10,000,000
施 設 関 係 支 出	1,549,628,000	1,645,797,810	△ 96,169,810
設 備 関 係 支 出	2,243,451,000	1,704,718,406	538,732,594
資 産 運 用 支 出	1,500,000,000	0	1,500,000,000
そ の 他 の 支 出	4,148,132,038	4,179,730,871	△ 31,598,833
[予 備 費]	100,000,000	―――	100,000,000
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 5,013,081,000	△ 4,624,966,891	△ 388,114,109
次 年 度 繰 越 支 払 資 金	7,890,630,521	6,582,691,132	1,307,939,389
支 出 の 部 合 計	50,698,425,559	47,944,144,590	2,754,280,969

（※1）帰属収入:学校法人の負債とならない収入〔学生納付金、手数料、寄付金、補助金、資産運用収入、事業収入（医療収入を含む）、雑収入をいう。
（※2）消費支出:学校法人が消費する資産や用益の額をいい、人件費、教育研究経費（減価償却額を含む）等の諸経費、支払利息などその年度において消費する支出をいう。
（※3）帰属収支差額:帰属収入から消費支出を差し引いたものをいう。
（※4）基本金組入額:学校法人がその活動を永続的に維持し、必要な資産を継続的に保持するために帰属収入から組入れた金額（1号から4号までの基本金があるが、本法人は、現状1号と4号のみ設定）
（※5）消費収入:帰属収入から基本金への組入れ額を控除した金額をいう。
（※6）消費収支差額:消費収入から消費支出を差し引いた金額をいう。
ここで、消費収支計算書（帰属収入、基本金組入、消費収支差額等）の計算構造を整理すると、
帰属収入－消費支出＝帰属収支差額
帰属収入－基本金組入＝消費収入
消費収入－消費支出＝消費収支差額（消費収入又は消費支出超過額）→（収支均衡の測定）
と表すことができる。

貸借対照表上では、資産については固定資産の取得で増加する一方、土地、図書を除いて減価償却を行い、かつ、機器備品の除却等がありますので若干の減となりました。負債については返済を進めているため、固定負債である長期借入金、学校債は減ですが、今後1年内に返済しなければならない流動負債がやや増となりましたので、負債全体で昨年対比若干の減です。

貸借対照表 平成21年3月31日 (単位:円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	55,314,125,345	55,617,312,907	△ 303,187,562
有形固定資産	53,134,026,721	52,978,270,629	155,756,092
土地	15,440,731,332	15,440,731,332	0
建物・構築物	29,059,035,065	29,139,534,132	△ 80,499,067
教育研究用機器備品	7,050,053,864	7,012,291,487	37,762,377
図書	1,083,785,569	1,048,746,866	35,038,703
建設仮勘定	227,599,000	5,932,500	221,666,500
その他	272,821,891	331,034,312	△ 58,212,421
その他の固定資産	2,180,098,624	2,639,042,278	△ 458,943,654
教育施設設備等引当特定資産	1,100,053,013	1,600,078,680	△ 500,025,667
退職給与引当特定資産	400,013,889	400,013,889	0
その他	680,031,722	638,949,709	41,082,013
流動資産	11,690,024,442	11,801,139,861	△ 111,115,419
現金預金	6,582,691,132	8,659,193,125	△ 2,076,501,993
有価証券	290,644,722	399,964,722	△ 109,320,000
その他	4,816,688,588	2,741,982,014	2,074,706,574
資 産 の 部 合 計	67,004,149,787	67,418,452,768	△ 414,302,981
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	11,894,988,303	13,067,420,783	△ 1,172,432,480
長期借入金	5,586,735,000	6,522,015,000	△ 935,280,000
学校債	400,000,000	584,000,000	△ 184,000,000
退職給与引当金	5,796,847,883	5,813,524,623	△ 16,676,740
長期未払金	111,405,420	147,881,160	△ 36,475,740
流動負債	7,136,391,493	6,178,357,120	958,034,373
短期借入金	1,028,032,191	576,530,000	451,502,191
学校債	194,000,000	40,000,000	154,000,000
前受金	1,102,673,500	1,385,233,000	△ 282,559,500
その他	4,811,685,802	4,176,594,120	635,091,682
負 債 の 部 合 計	19,031,379,796	19,245,777,903	△ 214,398,107
基 本 金 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第 1 号 基 本 金	83,325,956,627	80,897,927,367	2,428,029,260
第 4 号 基 本 金	3,110,000,000	2,638,000,000	472,000,000
基 本 金 の 部 合 計	86,435,956,627	83,535,927,367	2,900,029,260
消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	38,463,186,636	35,363,252,502	3,099,934,134
消費収支差額の部合計	△ 38,463,186,636	△ 35,363,252,502	△ 3,099,934,134
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	67,004,149,787	67,418,452,768	△ 414,302,981

※注記 減価償却額の累計額 36,038,454,438円
基本金未組入額 5,870,498,293円

以上が20年度決算の概略です。総括しますと本院の外来収入は大幅に減ったものの、入院収入でこれをある程度カバーし、学生納付金収入が予定通り増のプラス要因と固定資産取得に充当する特別寄付金収入の寄与が大きく、消費収支上では昨年比やや改善しましたが、帰属収支差額は3年連続の赤字で△2.0億円という決算でした。一方、資金の動きでは、建物や機械器具備品取得などの施設設備関係支出が昨年比大幅増により資金の減少という結果になりました。

財産目録や財務比率等及び事業報告書は、本法人の財務情報公開にかかる閲覧要領に従い、西宮キャンパス事務局財務部において閲覧に供していますのでどうぞお越しください。

規程等の制定・改正(規程等の全文は学内ネットに掲載)

No	項 目	制 定 ・ 改 正 の 趣 旨	制定・改正日
1	病院部長会規程	専任病院長の設置が可能となったこと等による病院部長会構成員の一部見直し。	平成21年4月1日改正
2	認知症患者医療センター運営委員会規程	兵庫県からの指定を受け当院に設置している兵庫県認知症患者医療センターの運営を行うため制定。	平成21年4月1日制定
3	病院予算委員会規程	病院長を委員会の構成員に加え、委員長になることができる旨の改正。	平成21年4月23日改正
4	クリニカルパス推進委員会規程	委員の構成について一部改正。	平成21年4月23日改正
5	医療材料委員会規程	病院長を委員会の構成員に加え、委員長になることができる旨の改正。	平成21年5月1日改正
6	薬剤部長候補者選考内規	薬剤部長候補者選考に関する申し合わせを廃止し、内容を一部修正のうえ内規として制定する。	平成21年5月8日制定
7	病院規程	入退院管理室を中央施設に設置するための改正。	平成21年5月26日改正
8	入退院管理室運営規程	入退院管理チーム活動を発展させた入退院管理室を病院中央施設に置き運営規程を制定。	平成21年6月1日制定
9	薬事委員会規程	病院長を委員会の構成員に加え、委員長になることができる旨の改正。	平成21年6月16日改正
10	学校法人兵庫医科大学大学連携協議会規程	兵庫医療大学教育委員会の設置に伴う改正。	平成21年4月1日改正
11	兵庫医科大学篠山キャンパス顧問暫定内規	篠山キャンパスの経営再建を行うため委嘱する顧問に関する内規を制定。	平成21年5月26日制定
12	学校法人兵庫医科大学個人情報保護規程	管理責任者に兵庫医療大学長を追加するための改正。	平成21年6月1日改正
13	個人情報保護委員会規程	委員構成に兵庫医療大学関係者を追加するための改正。	平成21年6月1日改正
14	学校法人兵庫医科大学医学・医療教育研修センター規程	○「医療人育成センター」にセンター名称を変更するための改正。 ○副センター長の人員を1名から若干名に変更し、専任教授以外から選任できるよう改正。 ○兵庫医療大学教育委員会の設置に伴う改正。 ○規程の改廃について理事会から常務会へ変更。	平成21年6月1日改正
15	学校法人兵庫医科大学医学・医療教育研修センター運営委員会規程	○「医療人育成センター」にセンター名称を変更するための改正。 ○兵庫医療大学教育委員会の設置に伴う改正。	平成21年6月1日改正
16	学校法人兵庫医科大学事務組織規程	「入退院管理室」の設置に伴い「入退院管理課」を設置することに関する改正。	平成21年6月1日改正
17	学校法人兵庫医科大学物流センター規程	物流センター運営委員会に兵庫医科大学病院及び篠山病院の病院長を委員に追加する旨の改正。	平成21年6月1日改正

兵庫医科大学病院 学校法人兵庫医科大学

平成21年度予算について

総務部

平成21年度の予算案が3月24日に開催された評議員会及び理事会で承認されました。その概要は次のとおりです。

1.平成21年度予算編成方針

本学の収支状況は、平成18年度より帰属収支差額が悪化しており、平成20年度決算は、帰属収支差額が△2億円で3期連続のマイナスとなりました。このため中期事業計画に基づく単年度計画においても、全体的に事業の進捗がやや遅延する見通しとなっています。その中でも特に平成21年度は、本学の基本的命題である二大学（兵庫医科大学・兵庫医療大学）の教育・研究ならびに兵庫医科大学病院の診療の充実に加え、篠山病院再生と兵庫医療大学大学院設置という重要な事業が控えているため、従前にもまして収支改善が喫緊の課題となっています。従って医療をはじめとする各面での収入の増大はもとより、「聖域なき支出項目の見直しと徹底した経費削減」を編成方針としました。

〔収入増対策〕	〔支出削減策〕
・兵庫医科大学病院の入院収入増を計る。	・人件費の抑制に努める。
・病床稼働率89.8%を目標とする。	・教育研究費、医療経費及び管理経費の5%以上の削減を目指す。
・文部科学省等の補助金収入、治験収入、寄付金収入等外部資金の確保を例年に引き続き積極的に行い、前年より増額を計る。	・施設・設備等の整備、機器購入は、必要最小限に止める。

2.収支概要

学校会計の収支計算は、企業の損益計算に相当する消費収支計算と、当該年度の資金の流れを明らかにする資金収支計算とがあります。本学の平成21年度収支予算（消費・資金別）は別表のとおりです。以下、主に本学の平成21年度消費収支予算概要について説明します。

【消費収支予算概要】

帰属収入416億2200万円より消費支出397億4300万円を差し引くと帰属収支差額は18億7900万円となります。但し、篠山病院建築補助金等を除くと約5億円の赤字となります。

収入の部で前年比増収となった主な科目としては、学生納付金収入が医学部定員増や兵庫医療大学学生数増等で7億2800万円増加し、補助金収入が篠山病院建設に係る市町村交付金やその他の補助金増で23億6600万円増加しました。一方減収となった主な科目としては、医療収入が入院収入増にもかかわらず院外処方の実施により10億1300万円減少し、寄付金収入も一般・特別寄付金あわせて減少して5億4600万円減少しました。

支出の部で増加した主な科目としては、人件費支出が教職員数増により4億2200万円増加しました。一方、医療経費は院外処方による薬品費等の減少により17億6700万円減少しました。

消費収支予算

(単位:百万円)

収 入 の 部				支 出 の 部				
科 目	平成21年度予算額	平成20年度予算額	増 減	科 目	平成21年度予算額	平成20年度予算額	増 減	帰属収入比率
学 生 納 付 金	6,161	5,433	728	人 件 費	18,176	17,754	422	43.7%
手 数 料	209	195	14	教 育 研 究 経 費	3,812	3,778	34	9.2%
寄 付 金	995	1,541	△ 546	医 療 経 費	15,035	16,802	△ 1,767	36.1%
補 助 金	4,302	1,936	2,366	管 理 経 費	2,423	2,392	31	5.8%
資 産 運 用 収 入	128	141	△ 13	借 入 金 等 利 息	72	85	△ 13	0.2%
事 業 収 入	804	794	10	資 産 処 分 差 額	100	100	0	0.2%
医 療 収 入	28,336	29,349	△ 1,013	徴 収 不 能 額	22	16	6	0.1%
雑 収 入	684	683	1	予 備 費	100	100	0	0.2%
帰 属 収 入 合 計	41,622	40,075	1,547					
基 本 金 組 入 額	△ 4,792	△ 3,855	△ 937					
消費収入の部 合計	36,830	36,219	611	消費支出の部 合計	39,743	41,029	△ 1,286	
				当年度消費支出超過額	2,912	4,809	△ 1,897	

※収支予算書の数字を百万円以下で切捨てて表示

資金収支予算

(単位:百万円)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成21年度予算額	平成20年度予算額	増 減	科 目	平成21年度予算額	平成20年度予算額	増 減
学 生 納 付 金 収 入	6,161	5,433	728	人 件 費 支 出	18,198	17,759	439
手 数 料 収 入	209	195	14	教育研究経費支出	2,529	2,514	15
寄 付 金 収 入	957	1,503	△ 546	医 療 経 費 支 出	13,234	14,970	△ 1,736
補 助 金 収 入	4,302	1,936	2,366	管 理 経 費 支 出	2,337	2,333	4
資 産 運 用 収 入	128	141	△ 13	借入金等利息支出	72	85	△ 13
資 産 売 却 収 入	1,200	1,500	△ 300	借入金等返済支出	2,438	616	1,822
事 業 収 入	804	794	10	施 設 関 係 支 出	3,834	1,549	2,285
医 療 収 入	28,336	29,349	△ 1,013	設 備 関 係 支 出	922	2,243	△ 1,321
雑 収 入	684	683	1	資 産 運 用 支 出	1,000	1,500	△ 500
借 入 金 収 入	4,000	0	4,000	そ の 他 の 支 出	4,876	4,148	728
前 受 金 収 入	1,083	1,365	△ 282	予 備 費	100	100	0
そ の 他 の 収 入	4,482	2,712	1,770				
資金収入調整勘定	△ 3,584	△ 3,576	△ 8	資金支出調整勘定	△ 4,897	△ 5,013	116
前年度繰越支払資金	6,582	8,659	△ 2,077	次年度繰越支払資金	10,701	7,890	2,811
収入の部 合計	55,348	50,698	4,650	支出の部 合計	55,348	50,698	4,650

※収支予算書の数字を百万円以下で切捨てて表示

平成21年度の主な取り組み

I.事業計画

1.兵庫医科大学

1)教育・研究に関する事業

- ①新入試制度の導入（平成22年度入試）
- ②兵庫医科大学国際交流センターの設置
- ③大学院共通講義の開設、授業評価の実施
- ④教員活動評価の実施と評価組織の検討

2)診療等に関する事業

(1)兵庫医科大学病院

- ①目標患者数、目標稼働率達成に基づく医療収入の確保
- ②入退院管理室の設置
- ③アイセンターの設置とそれに伴う手術室の強化
- ④病院機能評価再受審（Ver.6）の準備
- ⑤治験センターの強化
- ⑥看護師・助産師人材確保対策（募集・採用・離職防止）
- ⑦医療経費削減への取り組み

(2)篠山病院

- ①篠山病院医療提供体制の充実による経営の安定化に向けた基盤づくり

(3)ささやま老人保健施設

- ①長期・短期入所者、通所・予防通所リハビリ利用者の安定した確保

経営企画室

2.兵庫医療大学

1)教育・研究に関する事業

- ①大学院設置計画立案と文部科学省申請準備
- ②キャリアデザインセンターの開発と活動
- ③高大連携教育プログラムの実施
- ④兵庫医療大学診療相談室の開設
- ⑤既存キャンパスの教育環境整備

3.法人部門

1)将来計画・経営安定化のための事業

- ①中期事業計画の見直し
- ②西宮キャンパスのグランドデザインの策定
- ③学校法人兵庫医科大学基金の拡充
- ④物流センターの本格稼働
- ⑤本院の経営分析のための部門別収支計算等の可能なシステムの構築

2)情報整備のための事業

- ①篠山病院の情報システム構築
- ②情報センターの体制整備
- ③電子カルテシステム導入についての検討（西宮キャンパス）
- ④学生モバイル通信システムの導入（神戸キャンパス）

3)コンプライアンス強化に関する事業

- ①法人内における公的資金管理・運営の共通化、合理化

4)人材育成に関する事業

- ①医療人育成センターの整備

II.施設整備計画

1.西宮キャンパス

- ①1・6・7号館及びトレンチ（1～3号館）の各種配管改修・更新
- ②8号館受変電設備改修
- ③9号館水冷ヒートポンプエアコンの更新
- ④解剖実習室の環境整備
- ⑤鳴尾浜グラウンド設備整備

2.神戸キャンパス

- ①臨床薬学研修センターの第2期工事
- ②先端医薬研究センターの整備・拡充

3.篠山キャンパス

- ①篠山病院建設工事

|学校法人兵庫医科大学基金 設立 募金推進室

平成21年4月1日、学校法人兵庫医科大学基金を設立しました。同時に、基金の活動を支援する組織として学校法人兵庫医科大学兵医・萌えの会を設け、ご入会いただいた方の会費を寄付金のかたちで募る継続的な募金活動を開始することとなりました。皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

名 称：学校法人兵庫医科大学基金
 目 的：本法人の建学の精神を踏まえて、兵庫医科大学及び兵庫医療大学における教育・研究・診療等の強化や施設、設備等の整備を図り、これからの医学・医療を担う幅広い分野にわたる専門職者を育成するとともに地域医療の向上に貢献していく。
 事 業：兵庫医科大学、兵庫医療大学の教育・研究の充実及びそのための環境整備の支援
 兵庫医科大学、兵庫医療大学の学生への経済的支援
 兵庫医科大学、兵庫医療大学の国際交流の支援



学校法人兵庫医科大学
理事長 新家 莊平

現在、わが国では、空前の少子化や国の私学助成の削減、更には医療費抑制政策等をはじめとする諸要因により大学を取り巻く環境は厳しさを増しており、特に、昨年始まった世界的規模の経済危機は、本法人の将来計画にも大きな負の影響をもたらそうとしています。

このような状況下において、今後とも本学が社会の公器としての役割を充分果たすべく、教育・研究等の強化や施設、設備等の環境整備を絶え間なく図り、更に魅力ある大学として発展を遂げるには、安定した財政基盤が必須です。

これ迄、開学後の大きな周年において数々の記念事業を立ち上げる度毎に、皆様方に善意のご寄付をお願いし、多大のご協力をいただいて参りましたが、この度、新しく学校法人兵庫医科大学基金を創設し、継続的な募金活動を開始するとともに、その活動を支える会員組織として学校法人兵庫医科大学兵医・萌えの会を設け、ご入会の方々には様々な便宜や特典を提供しつつ、募金活動へのご理解とご協力をお願いしていくこととなりました。

今後、本法人は、今までも増して一層の経営努力を重ねてまいる所存ではありますが、皆様方におかれましては、何卒、この趣旨を御賢察のうえ、特段のお計らいとご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

連絡先

募金推進室
 〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
 ☎ 0120-456-991
 E-mail bokin@hyo-med.ac.jp



学校法人兵庫医科大学
基金担当理事
兵医・萌えの会
会長 三村 治

このたび、本法人においては、新たに学校法人兵庫医科大学基金を創設し、継続的な募金活動を開始することとなりましたが、同時に基金の活動を支援する組織として学校法人兵庫医科大学兵医・萌えの会（以下「兵医・萌えの会」という。）を設け、その会員から、会費を寄付金のかたちで募り、基金の運営に寄与することとなりました。

会員の皆様からご寄付をいただきました貴重な浄財は、教育・研究環境の整備や学生の奨学金等の支援を通じて、社会への貢献・還元のために使用させていただきます。皆様方には、何卒、本会の趣旨をご理解のうえ、是非とも「兵医・萌えの会」にご入会いただきたく、よろしくお願いいたします。

なお、ご入会の方々には、本法人が主催する様々な行事や講演会などに優先的に参加いただけるだけでなく、その他様々な特典を設けております。

今後、本学は、今までも増して教育・研究等の発展に努力を重ねてまいる所存ではありますが、皆様方におかれましては、何卒、この趣旨をご賢察のうえ、本会へご入会いただけますよう重ねてお願い申し上げます。



平成21年5月11日
 3-3講義室において第1回学校法人
 兵庫医科大学基金に係る説明会を開催しました。

兵庫医療大学のための募金 状況報告

「兵庫医療大学」のための募金活動を平成18年5月に開始して以来、これまでに教職員をはじめ、後援会（保護者）、緑樹会（卒業生）、名誉教授、退職者等（653名）は言うに及ばず協力医療機関や関連企業等を始めとする幅広い方々から、温かいお申し込みを賜り、誠に有り難く、厚くお礼申し上げます。

皆様からご寄付いただきました寄付金を兵庫医療大学の教育研究用施設整備等充実のために利用させていただくとともに、これからも全力で大学の合理化推進等により、必要資金確保に向けて自主的努力を重ねてまいります。加えてぜひとも関係各方面からの更なるご支援を仰ぎお力添えををいただきたく、引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

募金推進室
 H18. 5. 2～21. 3.31

区 分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
申 込	348件	660,372,347円	670件	189,480,000円	1,018件	849,852,347円
入 金	341件	647,572,347円	669件	189,280,000円	1,010件	836,852,347円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

H21. 1. 1～21. 3.31

企業等法人（5法人）	教職員
株式会社 ニチイ学館様 車椅子 137台 (9,498,347円) （ご芳名のみ記載） 株式会社 ケアコム様 匿名 3社	匿名 1名

～寄贈車椅子披露式～

4月15日（水）兵庫医療大学M棟大会議室において株式会社ニチイ学館様から車椅子137台が寄贈されました。車椅子は兵庫医療大学薬学部（30台）、看護学部（10台）、リハビリテーション学部（25台）、保健室（2台）、兵庫医科大学病院（35台）、兵庫医科大学篠山病院（35台）に配置され、学生の教育実習用として使用されます。

兵庫医療大学の松田学長は「実習がますます充実し、学生の学習意欲が益々高まるでしょう。今後ヘルスケア、人材育成、技術開発で互いに協力し、ポートアイランドの活性化に貢献していきましょう。」と述べられました。また、兵庫医療大学の学生を代表してリハビリテーション学部作業療法学科3年生の永野貴之さんと西川那美さんからは「各学部の教育実習に使用し、実践的な能力を身につけるために活用させていただき、信頼される良き医療専門職者を目指して学んでいきます。大切に使用させていただき、後輩に引き継ぎ、末永く使用していきます。ありがとうございました」とお礼の言葉が述べられました。



左より株式会社ニチイ学館 神戸ポートアイランドセンター谷口様、神戸支店ヘルスケア事業部 宮井様、神戸支店教育事業部曾我様、執行役員伊藤様



卒業生紹介



第1期生
池添 逸夫さん
兵庫医科大学後援会 会長
医療法人 池添医院 理事長

近 況

大学を卒業してはや31年が過ぎました。平成2年から父の後を継いで、現在に至っておりますが、これまでにご指導頂いた故下山孝先生、故城勝哉先生、故大浜庸先生、故熊谷廣一先生を始め多くの先生方に感謝すると共に、有形無形の遺産を受けた両親に感謝しています。私の信条は、「患者さんの声には十分耳を傾けると共に、分からないことは、分からないと正直にお話することです。当地では、幸い病診・診診連携がスムーズで、かつ、専門の優秀なドクターがたくさんいらっしゃるの、分からないケースや重症感があれば早めの紹介や、ご教示を仰ぐようにしています。このドクターの中には同窓生の中谷正晴先生、杉本憲志郎先生、出田淳先生、位藤俊一先生、磯川亮先生などの先生方がいらっしゃいます。大変恵まれた環境にいることにも感謝しています。

さて、診療は、内科小児科標榜の皆様方と同じと思いますが、生後3週間の赤ちゃんから在宅死まで広い範囲を担当させてもらっています。診療以外は、園医・学校医・看護学校講師・介護認定審査会・医師会活動と細い体に鞭打って動いています。

学生時代

エネルギーは、マージャンとヨットの部活に集中していました。しかし、6年生の時に結婚したので、プレッシャーがかかり卒業試験と国家試験は必死で勉強した記憶があります。偶然ですが、私の国試発表日に長女が生まれました。母子ともに安心したのでしょね。もし、不合格だったらどうなっていたのやら、このときの安堵感は今も忘れられません。



第4期生
山本 一成さん
山本クリニック 院長

近 況

平成7年に兵庫医科大学第四内科（現、消化器内科）を辞して、大阪市東淀川区で山本クリニックを開業しております。内科・消化器内科を標榜してレントゲン・上部内視鏡と腹部超音波を活用しております。執筆時点では新型インフルエンザが神戸・大阪で拡大の一途をたどっており、その感染を心配される風邪症状や発熱患者さんの鼻腔ぬぐい液によるインフルエンザ簡易検査に追われている状態です。日頃は地域医療として患者さんと一緒に病気の相談や悩みに取り組んでいます。

学生時代

ラグビー部に入り、楯円球を追いかけて過ごしました。顧問の斉藤先生（生化学教授）の「紳士であれ」という言葉は今でも耳に残っています。練習グラウンドは現在の立体駐車場と駐輪場になっている場所を利用しており、怪我をしないように大小の石を拾い集めて皆で整備していました。個性豊かなメンバーの集まりでしたが「スポーツをする」という目的で一つにまとまっていきました。スポーツを通じて友人ができたことが学生時代の宝物です。医師国家試験では、緑樹会報の合格体験記に載っていた勉強法から自分に合った方法を見つけて実行しました。

略 歴

昭和53年 3月 兵庫医科大学卒業
6月 兵庫医科大学第四内科
昭和59年10月 入局財団法人浅香山病院内科
平成 2年 6月 財団法人浅香山病院内科医長退職
8月 池添医院継承
平成 8年 4月 社団法人岸和田市医師会理事
平成12年 4月 岸和田市介護認定審査会委員
平成16年 4月 社団法人岸和田市医師会副会長
平成17年 4月 岸和田市介護認定審査会委員長
平成19年 6月 兵庫医科大学後援会会長
平成20年 9月 大阪府医師会感染症サーベランス委員会委員

卒業後に学んだこと

医学の学問や仕事をするには、何と言っても良き指導者にめぐり合うことがとても重要です。このためにも、自ら積極的に努力する態度が求められます。また、開業医のような実地医家は、福田能啓篠山病院長が広報の新年号（vol.197）で、お話されていますように、「自分の得意分野」と「一般的ではあるが豊富で最新の知識」の両面を持つことが、今後にも必要と考えています。そして、自信がある分野をライフワークとして、多くの先生方とのつながりを大切にすることが、長く開業医を続けられるコツの一つではないでしょうか。

後援会会長として一言

娘たちも大学にお世話になった関係で、平成19年6月より微力ながら後援会会長をお引き受けしました。入学式や卒業式は、少し辛いですが医院を休診にして出席しています。平成21年3月卒業の第32期生104名が、現役100%国試合格と言うととても良い結果を出してくれたことは、私にとっても最高の喜びです。あとにつづく在校生にとっても、この結果は大いなる自信につながるでしょう。今後、大学と緑樹会と後援会とが協力して、学生さんたちが、兵庫医科大学で学び卒業したことを、一層誇れるようにしていくのが使命と思っています。

略 歴

昭和56年 兵庫医科大学卒業
兵庫医科大学第四内科入局
昭和58年 英国留学（BMRL）
昭和60年 兵庫医科大学第四内科再入局
平成 7年 大阪市で開院

卒業後に学んだこと

大学病院勤務では、最先端の医療機器として腹部超音波やMRIが導入される時期でもあり、それらをいち早く利用させてもらいました。研究としてはヘリコバクター・ピロリ菌研究の創生期から除菌療法の保健認可までの期間を参加させていただきました。その時の問題解決の方法は今の考え方の基本になっています。一般病院は専門疾患の数多くの治療を経験し、診療所ではあらゆる疾患を診察して、医療機関への紹介や治療の限界を判断することを学びました。規模が小さくなれば医療以外の仕事が増えてくることも知りました。

在学生の皆さんへの期待とメッセージ

医事新報で、「第103回医師国家試験の合格率が96.6%（新卒100%）」という実に嬉しい記事を読みました。皆さんの実力に感服するとともに、今後も高い医師国家試験の合格率を目標に、一層の努力をお願いします。そして、卒業後は臨床研修に一般病院を選ばれる方も多いと思いますが、大学病院の臨床や研究ではまた違った経験ができます。幅広い考え方を身につける意味でも、後輩を刺激するためにも、ぜひ兵庫医科大学での経験も積んで欲しいと思います。

職場

REPORT
リポート



医学と工学の両面から患者さんの治療をバックアップ

兵庫医科大学病院 臨床工学室

臨床工学技士 ^{なかた} 中田 ^{あや} 文さん

医療機器を通して患者さんの治療をバックアップ

現在12名の臨床工学技士が医療機器の保守点検業務を行い、手術室・集中治療室・人工透析室・血管造影室・輸血部などで、人工心肺装置や人工呼吸装置などの生命にかかわる重要な医療機器を操作して、安全な治療環境を提供しています。

医療機器の高度化は著しく、常に最先端の知識と技術が求められます。医師をはじめ看護師、他のコメディカルと共にチーム医療の一員として、医学と工学の両面から患者さんの治療をバックアップしています。臨床工学室では「厳しくも楽しい」をモットーにスタッフ一丸となって頑張っています。

医療機器を安全に使用できる環境作り

私は主に機器管理業務と心臓カテーテル業務、幹細胞採取業務を担当しています。生命にかかわる重要な医療機器を扱うので、一つひとつの操作を慎重に行っています。普段の保守点検で故障防止に努めていますが、万が一、不具合が発生した場合には慌てずに素早く対応することが重要です。自身のスキルアップはもちろんですが、医療機器メーカーのメンテナンス講習会に参加したり、院内研修として看護師さん向けの勉強会を定期的に開催したりと、医療機器を安全に使用できる環境作りを積極的に行っています。



「始まりは「面白そう」から

医療に携わる仕事にはどのような職種があるのだろう、と調べている中で「臨床工学技士」を知りました。医療に対して工学の面からもアプローチできるところが「面白そう」と感じました。入職して間もない頃は、理論はあっても応用がないという状態で、戸惑うこともしばしばでしたが、実際の業務の中で技術面を鍛えてきました。ただ、医療と機器は日々進歩するので、常に勉強が必要。大変に思うこともありますが、勉強会に参加したり、学会で発表したりしてモチベーションを維持しています。時にはメーカーに機器改良の相談をすることもあり、医療の進歩にも関わっているという実感があります。

機械を扱うイメージからか、女性の少ない職業に思われがちですが、現在4名の女性が兵庫医科大学病院で働いています。業務を離れると笑いの絶えない楽しい職場です。仲間と支えあいながら、これからもスキルアップを目指したいですね。





チーム医療の一員として

兵庫医科大学病院 看護部 ICU病棟

看護師 小森 麻由さん

素早い対応が要求されます

ICUでは、医師やコメディカルと連携し、主に術後の急性期の患者さんや院内で重症化した患者さんの集中管理をしています。年々症例数と重症度は増しており、循環、呼吸、栄養管理はもとより、重症感染症例の増加に伴い血液浄化療法や臓器移植（肝移植、腎移植、骨髄移植）症例の集中管理なども行っています。あらゆる知識や技術に加え素早い対応が要求されるとともに、生命にかかわる重要な医療機器の操作など、一つひとつのケアを慎重に行う必要があり緊迫感もあります。そのような中でも、師長はじめ総勢30名以上のスタッフが一致団結し、明るく元気に業務を行っています。

希望して配属されたICU

救命病棟を舞台にしたテレビドラマを見て「チーム医療が活発な救命医療やICUで頑張りたい」という気持ちがありました。配属された当初は、人工心肺装置や人工呼吸装置などに囲まれた患者さんを前にして不安や怖さを感じてしまい、気管挿管中の患者さんやそのご家族とのコミュニケーションの取り方がわからず悩んだこともありました。先輩方の励ましや指導のおかげで今では落ち着いた対応ができるようになりましたが、そんな不安や戸惑いを経験したからこそ、昨年新人看護師の指導教育（プリセプター）を担当した時にも、後輩が置かれている立場を思い指導することができたのだと思います。

チーム医療の一員として

常に患者さんや周りの状態に気を配り、寄り添い、コミュニケーションを取りながら、安心して治療を受けてもらえるような対応を心がけています。緊急対応や患者さんの急変など、大変なことも多いですが、チーム医療の一員として治療・看護にあたるのでやりがいがあります。ICUから移動された患者さんを一般病棟で見かけた時に声をかけさせていただくこともあるのですが、ほとんどの方はICUの看護師のことを覚えておられません（笑）。それでも少しずつ元気になられ、前向きに治療されている姿を見るととても嬉しいです。

今後は、身近におられる急性・重症患者看護専門看護師や重症ケア認定看護師の方から多くのことを学ばせていただき、専門的な知識や技術をもっと磨きたいと思っています。そして、ICU看護の魅力とやりがいを感じながら仕事を続けていきたいです。



「発想力」と「思考力」であきらめない理学療法を

兵庫医療大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

講師 香川 真二さん

臨床に強い学生を育てるための「問題解決型学習」

理学療法学科では、個性豊かな10名の教員が連携を取りながら、特色のある講義や実習を行っています。理学療法学科の一貫した教育目標は「臨床に強い学生を育てる」こと。私が担当している神経系理学療法学でも、臨床現場で必要となる問題を発見・分析・解決する能力を高めさせるために「問題解決型学習」を実践しています。臨床場面を想定した授業の中で、臨床の緊張感を学生に感じてもらうため、学科長自ら患者役をさせていただくこともあります。また、義肢装具学の授業では講義を行うだけでなく実際に模擬義肢をつけてもらい、難しさや問題点などに自ら気づいてもらえるようしています。

勉強と同じくらい、学生生活を楽しむことも大切です。春の1年生の新歓、夏のバーベキュー、秋の球技大会など、理学療法学科では教員も学生も一緒になって楽しみます。



運動麻痺で困っている人を助けたい

本学に勤務する以前の10年間の臨床経験の中で、脳卒中や脊髄損傷の方の麻痺がなかなか改善しないことに疑問を持ったことがきっかけで、運動制御（どのように動いているのか）について研究しています。私たちは普段何気なく体を動かしますが、麻痺により体が不自由になった方と接していると、「体を動かす」ことには複雑な運動制御が関係していると感じます。目の前のコップに手を伸ばす、この単純にも思える運動でさえ、どのような仕組みで動くの

かが解明されていません。この仕組みがわかれば運動麻痺で困っている人を助けられるのではないかと考えています。また、理学療法は患者さんに運動を教える仕事でもあります。起き上がれない人を起き上がれるように、歩けない人を歩けるようにサポートする中で、動作が上達するとはどういうことか、より効率的に動作を上達させるにはどうしたらよいのかについても研究しています。

「発想力」と「思考力」で一緒に解決

問題解決には「発想力」と「思考力」が大事。その2つを磨くために、普段の生活の中でも非利き手でご飯を食べたり、パソコンのマウスを逆にして使ってみたり、様々な行動パターンを取るようになっています。そうすることで新たな発見があり、発想力や思考力にもつながっています。

理学療法の分野には、未解決の問題が山積みです。また臨床現場では患者さんの状況によりさまざまな問題が生じます。若い「発想力」と「思考力」によってそれらの問題を一緒に解決していける学生をたくさん育てたい。また、私自身も臨床と研究を続け、運動麻痺を治せる理学療法士に成長したいと思っています。現在の最新医療をもってしても回復が難しい状況にある患者さんにも、あきらめて欲しくないし、私自身もあきらめたくない。根気良く続けていきたいと思っています。



球技大会